

MASUKI INFO. DESK FIGHTING REPORT



No. 201
【発行・編集】
MASUKI 情報デスク
増木直美
大阪府豊中市上新田 2-6-25-113
TEL 090-3621-1509
FAX 06-6835-0974
http://mid.parfe.jp/
mid@jewel.ocn.ne.jp

● 祝祭日には国旗を掲げましょう

打倒！ 公長雄志 沖縄県知事

5月24、25日、私(増木)は嫁と沖縄を訪問した。嫁が沖縄に行ったことがなく、一度行ってみたいと言っていたので。私は沖縄には石垣の仲間先生の選挙の応援、戸塚ヨットスクールの合宿に同行、第1次首相靖国裁判の原告事務局等、何回も行って。今回は10年ぶり。気が付いたことを書き留めておきたい。

1 翁長知事出張費返還訴訟
翁長知事訪沖の主旨は、25日、那覇地裁で行われた金城テルさんが翁長知事相手に起こした裁判の傍聴。
先般翁長沖縄知事が県の費用で国連に行った。そして演説をしたのだが、その話が県の予算を使うにはふさわしくない。だから旅費を県に返せ！と言ったもの。詳細はブログ「狼魔人日記」、『沖縄県政の刷新を求める会』のEPO等を参照いただきたい。
2 第6回慰霊顕彰祭の会場見学
目的は、6月24日(摩文

仁の丘で行われる「第6回慰霊顕彰祭の会場見学。詳細は『日本台湾平和基金会』のEPOを。
3 関空を米軍に差し上げよう！
橋下市長は、関空で米軍の機能の一部を引き受ける。などと言っていたが、いっそのこと関空を米軍に差し上げよう！ 10年ぶりの沖縄。前とまったく違う。バイパスが整備され、糸満市の市街地を抜けることなく、15分ほどで摩文仁に行ける。あちこちでトンネルを掘ったり道路が整備されているという。車窓に見える糸満の市役所は新築？ そもそも那覇市街がきれい。どれだけの予算を沖縄に投入したのだ。何とか振興費、米軍に関空を明け渡し、大阪はそのなんとか振興費をいただこう。どれだけ大阪がリッチになるか！
4 沖縄の騒音問題
嘉手納基地の北側に基地の全容が見える「安保の丘」と言っ観光スポットがある。飛行機おたくの私は、そこで米軍機を見ようと2時間頑張った。ところが、機体の離着着もなし。静かと言っか、のどかなものだ。そう言えば、二日間でも一回も爆音は聞かなかった。軍用機の影も形もない。まさか、僕に気を使ってくれたわけでもない。もう一つの語り部



〔向かって右：錦古里事務局長、左：増木〕

「M情報」は連合艦隊です。その旗艦が「NPO 法人百人の会 (理事長、辻淳子大阪市会議員)」。2番艦が「英霊を被告にして委員会 (代表中村重行)」、3番艦が「憲法一条の会 (代表小野馨子)」。これらの団体に頂いたご意見等を M 情報の責任で発信しています。

《M 情報活動報告》編集指針：政治や国際問題、市民活動に全く無縁だった一般の人達に、「おばちゃん語」で政治を届ける

沖縄闘争取崩線レポート

国連演説の翁長知事を提訴へ沖縄の有志 資格外で 公費返還を
2017.11.19 07:42

翁長雄志（おながたけし）沖縄県知事が平成27年9月21日にスイス・ジュネーブの国連人権理事会で、参加資格がない「県知事」の立場で演説を行いながら公務としたのは不当だとして、県民有志でつくる「沖縄県政の刷新を求める会」（江崎孝代表）のメンバー5人が21日、公費から支出された約96万円（渡航・宿泊費、日当など）の県への返還を求めて翁長氏を那覇地裁に提訴することが分かった。

5人は10月13日、地方自治法に基づき、県監査委員に住民監査請求を行った。しかし同27日に「1年以内の請求期限を経過した不適當な請求」などと却下されたため、住民訴訟に踏み切ることにした。

国連人権演説で翁長氏は、沖縄に米軍基地が集中する現状を強調し「沖縄の人々は自己決定権や人権をないがしろにされている。あらゆる手段で新基地建設を止める覚悟だ」などと述べ、米軍普天間飛行場（沖縄県宜野湾市）の名護市辺野古移設阻止への決意を示した。

「辺野古移設阻止」を掲げる翁長氏には国際世論に直接訴えかけ、移設をめぐる対立する日本政府を牽制する狙いがあったようだ。

外務省によると日本の首長が国連人権理で演説するのは初めてだが、翁長氏には県知事として演説する資格がなかった。規定で演説が認められるのは（1）非理事国政府代表者（2）国際機関代表者（3）国連経済社会理事会に認められた協議資格を有するNGOの3者に限定されているためだという。

翁長氏は、（3）に当たるNGO「市民外交センター」（代表・上村英明恵泉女学園大教授）に発言枠を譲り受けた。同センターは、沖縄県民を先住民に認定させる運動を展開している。

依田啓三氏の声 (Fbより)

H30-6-4

同じ村民には悪いですが、わが東村は「〇〇」が付くくらいでもないクソ田舎です！笑 非常に素晴らしい自然に恵まれて、子供達も元気いっぱい育っています。見知らぬ人にフラツと会いに行けるほどアクセスが良い場所ではありません。それなのに、「頑張っ！」「応援します！」「わざわざ一言伝えるために、」まで遠路遙々訪ねて下さる皆様が多数いらっしゃる事に涙が出るほど感動しています。

法律も、それを執行する機関も時々間違いを犯します。信じられないくらい理不尽で不正義な事件に巻き込まれ、国は救済してくれません。たぶん、そのリテ

才動画が依田を救う圧倒的に有利な情報や場面を含んでいたとしても、法に触れる場合には、警察組織は絶対に公開しません。公開したくてもできません。たとえそれが100%無実を晴らす証拠になると分かっても。

「過激派組織」は、それがよく理解できています。最後の最後まで、その決定的証拠が出てくるまで否定し続けます。基地内に侵入してない！人権侵害だと騒いでいた過激派は、海兵隊から流出したビデオで不法侵入が証明され、大騒ぎしていた地元二紙も含めた一回は、何事も無かったかのように黙りました。

尖閣諸島で海上保安艦にぶつめた中国船もビデオ流出があるまで日本をひたすら非難していました。この二件の流出事件を起こしたエルドリッチ博士と一色さんは、本来ヒーローのはずなのに、違法行為を咎められ、職を失いました。

正義は、必ず勝つとは限らないのです。でも、「大義」という大きな「正義」がある。大義を果たすためには、小さな正義が犠牲になる事もある。家族を抱えながら、犠牲を払った者達も「大義」が見えているから、自分の行動を悔いていない。僕には、追いかける大きな背中があるから、安心してドンドン前に進めます。

それぞれ違つと思いますが、僕の「大義」は、「日本国民が誰からも干渉される事なく、国内外を問わず、他者（他国）からの脅威を受ける事なく、自由に発言と行動する事が保障される事」です。なぜか、過激派の一部も同じことを主張しているのが不思議ですが、これが「自分らしく」「日本人らしく」を護る本来の「保守活動」であると信じています。その為には、少数派の意見にもしっかりと

と耳を傾けて、配慮する優しい社会を作らないといけません。が、「少数派」の定義付けも非常に重要です。

過激派は、全国に1%もいません。彼らは、少数派ですらなく、ただ治安と秩序を乱すテロリストです。テロリストや反社会的勢力（ヤクザの事ではなく、政治的な犯罪組織）に、普通の人間と同じ「人権」を保障してはいけないと思つたのです。犯罪者に「すべて」の人権を保障したら、刑務所に入れる行為は、逮捕・監禁罪になるし、「死刑」は、「政府による殺人」になってしまいます。本来は、「内部告発」など勇氣ある行動を称え、「人権」を傘にきた犯罪者を厳しく処罰する「目利き」をするのが裁判所ですが、もう彼らにそれを期待する事はできません。

私達にできる事は、可能な限り家族や友人など一般国民に「真実」を伝えること。無関心層や中立派は、政治談義から逃げたがります。そうした気持ちも分かった上での話し方ってあると思います。言いつ放して受け手に何も伝わらない右翼用語などを避けて、相手が耳を貸し、心を聞く言葉と口調を選び、しっかりと「伝えていく」と。「伝わらない」と意味がない。私達の言動で無関心層が更に離れ、日本人の投票行動に結びつかず、結果的に日本を貶める勢力を利用してしまつたら、私達も「反日活動」に従事していると批判されても仕方ありません。

僕は事件に巻き込まれるまで、そうした思いを行動に繋げる事はなかったし、ある意味、他人事として積極的に関わってきませんでした。家族、または自身が白血病になって初めて骨

髓ドナー募集運動に参加するように、
どうやったらず、「当事者」として、眠ら
されている感性を呼び覚ます事ができ
るか?今一度熟慮し、自分にできる範
囲で活動していけたらと思います。

まずは、秩序破壊、治安を混乱され
たこの沖縄県を、取り戻したいと思っ
ています。その為に、現在「知事候補
選挙委員会」が、検討を重ねています。

いよいよ今月、知事候補が発表され
ます。選挙委員会の答えが出れば、そ
れに絶対的に従い、一本化された候補
を全力で応援します。沖縄を無防備に
し、敵に売る反日勢力に与する事があ
ってはいけません。

〇〇田舎にいても、たくさんの応援
に励まされます。沖縄がケガをするこ
日本全体と一緒に痛みを共有してくれ
ています。今こそ立ち上がって座り込
め!というイデオロギー勢力から、沖
縄が解放される日は近いと信じていま
す。ノンポリの友人のみなさんもどう
か一緒に考えてください!
日頃の友情に感謝しつつ)

H30-6-7

みなさま

「過激派」の「違法検問が原因となり、
東村高江で巻き込まれた傷害事件の控
訴審の公判の召喚状が、たった今届き
ました。

第一審は、公道における過激派の検
問に抗議した事が違法と認定され、敗
訴していますから、今回が実質的にラ
ストチャンスです。弁護士も照屋先生
に加えて、大阪から徳永先生、岩原先
生に加わって頂きました。また、現在、
警察による過激派に対する検問が裁判

所によって「違法認定」され、井翁長知
事が、井沖縄県警の反対を押し切って
「控訴断念」という、全国における将来
の過激派取り締まりにとんでもない影
響を与える「判決確定」をさせてしま
いましたので、それについて、上記の弁護
団が訴訟を起こしています。合わせて、
民事的には、地元民の僕の業務(観光案
内)を妨害したという事実がありますの
で、過激派集団にしっかりと責任を果た
してもらおうと民事訴訟の準備を進め
ています。

弁護団結成に伴って、弁護士費用が3倍、
その為の訴訟費用等がかかりましたので、
賛同される皆様の協力とシェアをお
願ひ致します。僕は、通常と変わらな
元気に過ごしていられる事が感謝で
す!

みなさま、ぜひ一緒に戦ってください
い!

高江住民依田さんの反撃! 2018-06-02 狼魔人日記

トンデモ判決に挑む トンデモ検事の糾弾

東村高江で農業と民宿を経営する依
田啓示さんが、反基地活動家による違法
な「私的検問」で通行を妨害された。

依田さんは民宿客を輸送中、道路を封鎖
した五人の活動家とトラブルを起こし
た。依田さんは傷害罪(全治三日間)で、
起訴され那覇地裁で有罪判決を受けた。

依田さんは事件の発端が活動家によ
る違法な交通妨害であるため、「喧嘩両
成敗」で不起訴か、最悪でも執行猶予が

付くものと考えた。だが実際は執行猶予
なしの有罪判決である。判決書を読むと、
原告の反基地活動家が依田さんの「一方
的暴力」と主張しているのに対し、被告
の依田さんは口論になった際、相手の
人が執拗に依田さんを写真撮影したの
でそれを振り払うとき携帯が落ちたが、
「正当防衛」を主張している。結局裁判
長は、原告側の主張を全面的に採用し、
依田さんの正当防衛は却下され有罪判
決を受けた。

判決文を読んで奇異に思うのは、依田
さんを「暴力男」と認定した判決は、沖
縄2紙の報道に対して裁判長が「忬度」
している事実だ。沖縄2紙は、違法な「私
的検問」をする反基地活動家を「市民」
或いは「市民ら」と報道し、被害にあっ
た依田さんを「暴力男」と決め付ける記
事を書いている。まさに沖縄2紙の偏向
報道を忬度した偏向判決ではないか。

何事にも原因が有り、結果がある。
殺人事件も原因である「動機」がある。
「動機」があつてその結果、殺人が起き
る。(時々「動機なき殺人」が話題にな
るが、これは例外だ。)

今回の刑事裁判の原因は、反基地活動
家の違法な「私的検問」である。ところが
判決文では「事件」の原因である「私
的検問」を「前提」として審議され、「私
的検問」の違法性については一言の言及
もない。つまり、裁判では「私的検問」
は不問に処しているのだ。

こんな不当な判決が確定したら、以後
「私的検問」が罷り通り、これに抵抗す
る一般市民は「暴力男」として有罪判決
を受けてしまう。当然、依田さんは逆転
勝訴のため、控訴すること。

控訴審では、事件の原因となった「私

的検問」を、審議の対象にし、「市民
ら」と報じられている原告の反基地活
動家の違法な行為を証明する必要が
ある。その一方「暴力男」として断罪
された依田さんが自分の仕事を妨害
「業務妨害」されを抗議した際の「正
当防衛」を立証する必要がある。

【1】参考】

今回の旅費は嫁と二人で4万円程。
27日に名古屋へ行ったがそれより安
い! 飛行機(ピーチ)4000円×往
復×2人、ホテル(ブレスア; まあま
あ)3000円×2人、レンタカーの000
円(2日)、自宅(大阪千里)へ関空
往復1000円位(ガソリン、高速代、
空港での駐車代)・・・実はこれが
一番高い! 特に今は梅雨なので一
年十で一番安いらしい。しかし二日間
とも快晴!

◎ピーチはファーストシートをお勧め
め。私もひっかかったが、ファースト
クラスではない。機内の一番先頭のシ
ート。プラス1400円。普通のシー
トと同じシートだが、前が壁で足元が
大変広い!
マスク



各位。各団体等からの報告・ご意見

朝鮮総連第24回大会に登壇した日本人たち
(三浦小太郎先生ブログより)
2018-06-03 報告 中曾早鶴子

私は、2019年9月9日 一 文部科学省、文部科学省大臣宛、兵庫県朝鮮学校補助金について停止するよう日本各地、世界各地の皆様からいただいた署名とともに要望書提出しました。皆様の署名のおかげであると思います。がタイミングよくそのあと、文部科学省が19年3月29日に「補助金の公益性、教育振興上の効果などを十分検討」するよう求めた通知を出し、この通知により全国的に朝鮮学校の補助金が減額されたり停止されました。2015年から2016年に文部科学大臣であった馳浩議員が、この通知を出されたときの大臣でしたので、朝鮮学校への適正な対処をされた方と評価しています。

朝鮮総連大会に登壇したのは、その朝鮮学校補助金見直し通知に対する抗議をかわすためでしょうか。少し疑問に思うところです。

朝鮮総連第24回大会に登壇した日本人たち(国会議員含む)
三浦小太郎先生ブログより

去る5月27日、朝鮮総連の第24回全体大会が開催されました。そこで

登壇した日本人諸氏の発言をここに紹介いたします。内容はすべて朝鮮新報に掲載されているものです。最初にお断りしておきますが、このような大会に登壇してはいけないと言いつつも切りはありませぬ(ほんとと言いたいけど)個人の思想信条は自由です。ですから、ここで発言している親北系の運動家や個人は、それはそれで一つの立場でしょう。ただ、そういう方は「人権」とか「日本国の主権」という言葉はあまり使わないでほしいと思うだけです。しかし、ここには、複数の国会議員が登壇しています。その場合は議員諸氏は、その日の発言は注意してほしい。朝鮮総連で登壇するからこそ、拉致問題や人権問題について、少なくとも触れるくらい姿勢を持ってほしい。真の日朝の友好のためには、何の罪もない拉致被害者の日本帰国は前提です。平和統一のためには、韓国や日本同様、共和国もさらに開かれた国になる必要があります。民主主義日本に住む皆さんこそ、そのことを共和国に伝えることで両国の懸け橋となってくたさい」とか、言い方はあるはずですが、そんなことは言わせない、と言われたら登壇を断ればいいだけのことです。本当はそういう議員のほうが、総連も一目置くはずですよ。

登壇しては、その場で一つの立場でしょう。ただ、そういう方は「人権」とか「日本国の主権」という言葉はあまり使わないでほしいと思うだけです。しかし、ここには、複数の国会議員が登壇しています。その場合は議員諸氏は、その日の発言は注意してほしい。朝鮮総連で登壇するからこそ、拉致問題や人権問題について、少なくとも触れるくらい姿勢を持ってほしい。真の日朝の友好のためには、何の罪もない拉致被害者の日本帰国は前提です。平和統一のためには、韓国や日本同様、共和国もさらに開かれた国になる必要があります。民主主義日本に住む皆さんこそ、そのことを共和国に伝えることで両国の懸け橋となってくたさい」とか、言い方はあるはずですが、そんなことは言わせない、と言われたら登壇を断ればいいだけのことです。本当はそういう議員のほうが、総連も一目置くはずですよ。

もし、そのようなことはきちんと言っただが、すべて編集でカットされた、というのなら、当初から、新聞に掲載する場合はこの一言を必ず入れてください、くらいのことはお話しておくか、もしへん

壇上で述べざるべきです。少なくともこの記事では、ヘイトスピーチ批判はあっても、北朝鮮の人権問題にも、拉致問題にも言及はほとんどない。敢えて、今日は一切コメントをつけずに掲載します。読む皆さんは怒るのではなく、このような言説がいまだに存在するのだということとを認識するための資料と考えてくださるとありがたいです。

〈総連第24回全体大会〉各界人士、連帯のあいさつ

26、27日に東京で開催された総連第24回全体大会では、日本各界の人士らが来ひんとしてあいさつを行った。要旨を紹介する。

(1) 自由民主党 教育再生実行本部長 馳浩 衆院議員

4年一回の全体大会に招いていただき感謝を申し上げます。4年一回といえばオリンピック。20年の東京五輪には朝鮮選手団が参加し、新しく建設される国立競技場での開会式にもしっかりと臨んでいただきたい。また東京五輪には金正恩委員長にも参加していただければと思います。

(2) 公明党 国際委員会 委員長 遠山清彦 衆院議員

今回の総連全体大会は朝鮮半島をめぐる情勢が急激に変化し、そして平和に向かつて新たな局面を迎える中で行われる意義ある会合だと思ふ。私も東京の小平で共に青春の時を過ごした仲間だ。

(3) 国民民主党 国際局長 藤田幸久 参院議員

今年の正月以来、世の中が変わった。対立や争いが続いてきた世界において、和解と融和の風が、朝鮮半島からスタートした。南北対話という形で、色んなこ

とが起きているが、それにつけて感じるのは、朝鮮半島の分断の責任は日本にあるということ。そこから私たちはスタートしなければいけない。

(7) 沖縄の風 糸数慶子 参院議員

日本の国会議員として、まず、朝鮮半島への侵略と日本の統治により、朝鮮の方々に多大な犠牲を強いてきたこと、そして戦後補償が10年以上過ぎた今も終わっていないことに、心からお詫びを申し上げます。

(10) 立憲民主党 国会対策副委員長 山花郁夫 衆院議員

在日朝鮮人の権利と尊厳を守るため日々奮闘される皆さんに敬意を表するとともに、朝鮮半島の平和と統一を願うひとりとして心からごあいさつを申し上げます。

(朝鮮新報)

朝日新聞の知性はなぜここまで崩壊したのか?
2018-6-3
 関東学院大学講師西村幸祐

朝鮮総連の全体大会を詳しく報道もできない 無責任体質を問う

新聞の社説など誰も読まなくなったので、大した意味がないという声が多い。確かにそういう面はあるのだが、社説はその新聞を読み解くうえで非常に重要な。というのも、新聞各紙の論説委員が毎日議論する中から社説

が形成されて行くからだ。執筆は論説委員の持ち回りだが、記者の中でも出世頭のエリートである論説委員たちが社論を作るので、各紙の論調を規定することに。つまり、一人ひとりの記者にとって、いわば掟のようなものなるので、どんな記事でもおおよその場合、社説の影響がまぬがれないのである。

最近メディアの劣化が目に見える。特に朝日の論説が酷い。過去 10 年ずっとそうだったではないか、とお怒りの人も当然いるだろうが、第二次安倍政権誕生後に特に酷くなり、この 3 年で臨界点を超えた。5 月 31 日の社説は《党首討論 安部論法もうんざりだ》というタイトルで、この期に及んで《モリカケ》を議題にする立憲民主の枝野代表を持ち上げ《野党党首の多くが取り上げたのは、やはり森友・加計問題だった》と、まるで朝日の下請け機関のような特定野党には無批判だ。《質問に正面から答えず、一方的に自説を述べる。論点をすり替え、時間を空費させる》と安倍首相を非難する。

《そんな「安倍論法」のおかげで、議論の体を成さない空しい 45 分となった》と言うが、そんな《モリカケ》だけを取り上げるお蔭で、一年半も時間を空費させたのは誰だ？ そんな朝日論法に国民はうんざりだ。

5 月 30 日の社説では《防衛大綱提言 「予算倍増」の危うい道》と防衛費が倍額される防衛大綱提言を《5 兆円に膨らんだ防衛費を 10 兆円規模に倍増させようというのか。財源の議論もないまま大風呂敷を広げるのは、無責任の極みだ》と非難する。無責任

の極みは、いったい、誰だ？

ここ数年で事故による自衛官の殉職が増えているのは、シナの日本への侵略意図が物理的に激しさを増す中で、極端に少ない防衛費の中でギリギリの運用を迫られている弊害が現場に出ているからだ。軍事費が GDP 1% という世界の常識からは信じられない低予算で、自衛官は自らの命を削りながら任務に赴いている。少ない予算によって、新兵器の導入より、通常兵器の平時の運用に支障が出ていることは、知性をもって取材をしていけば、朝日新聞も知っているはずだ。北朝鮮だけでなく、東シナ海で尖閣を虎視眈々と狙うシナの戦略の変化と海軍、空軍の陣容が巨大化し、脅威に なっているのも知らないはずはない。知っていてもとぼけるのは無責任で悪質、かつ犯罪的と言えぬ。

5 月 29 の 27 日に朝鮮総連の最高意思決定機関、全体大会が 4 年ぶりに開催されたが、朝日はこんな記事でお茶を濁した。

今、まさに世界の焦点になっているのが、独裁者、金正恩が率いる、北朝鮮。その日本における出先機関である朝鮮総連の重要な大会が、こんな記事で済まされていいわけがない。産経が取材から締め出されることもある朝鮮総連と極めて良好な関係が過去の 10 年以上ある朝日新聞なら、もっと真面目に報道するべきだ。それができないのは、過去帰国事業のお先棒を担いで、多くの在日朝鮮人や日本人妻を死地に追いやって責任すら、朝日は取ったことがないからだろう。

この大会に在日朝鮮人でなく、日本人の誰が参加して、何を話したのか？ 与

野党問わず多くの政治家も参加したが、どんな関わりをもって、何を訴えたのか、最低でも朝日新聞はそれを他紙より大きく、かつ詳細に報じる義務がある。なぜなら、過去、朝鮮総連に最も理解のある日本のメディアだったからである。

評論家の三浦小太郎氏が、朝鮮総連の機関紙「朝鮮新報」の記事を引用して、誰が何を話したかをブログで記事 (http://mura.trycompact.jp=4093) している。是非、読んで頂きたいのだが、驚いたことに、誰一人として、警察庁が公式に認める拉致の疑いがある 800 人以上の日本人について、そして拉致問題そのものに何も言及しなかった。しかも、現在も 10 万人以上が強制収容所でゴキブリやネズミを食べる地獄の苦しみ味わっている北朝鮮の人権問題にも誰も言及していないのである。

朝日新聞にまだ知性が残されていたら、せめてそれ位のことは書けるはずだった。



政治家は議論するサムライであれ！

政治家とは数ある職業の一つであるが、国民全体に影響のある極めて重要な職業と言ってもよい。政治家は別名「代議士」とも呼ばれるように「国民に代わり議論する士 (サムライ)」である。広

く選挙により選ばれ、選挙民を代表し、国民が当面している諸問題を議会で議論し結論を出す役割がある。

野党の政治家は特にひどい！証拠もないいい加減な風評で首相や政府を攻撃、拳句の果て審議拒否、喫緊の課題が山積しているのに。これは野党だけでなく与党の政治家にも言えること。今回は政治家に望むことということで書いて見たい。

最近の議会での議論を見てみると、国民が当面している問題は何か、政治家が理解していないように見える。国民は自分たちが安全に豊かに暮らせることを望んでおり、そのようなような国に日本がなることを願っている。

そこで思い出されるのが経世済民 (経済という言葉の語源) という言葉である。「民を救うような政治を行う」ということで、政治家の本来の使命を簡潔に述べている。そこである一人の政治家が頭に浮かんだ。それは小泉進次郎氏である。

小泉新次郎氏のこと

最近、小泉氏が述べたことで気になることがあった。小泉氏の父親は第 87~89 代の内閣総理大臣小泉純一郎氏である。新次郎氏はマスコミに人気があり、若手の政治家として売り出し中で、自民党の中でも次期総理候補の声も出ているようである。父親似で人心掌握に長けているようである。しかし、ある対談 (京都大学客員准教授 滝本哲氏との) を見て小泉氏に政治家としての適性に疑問を感じたのである。その対談内容の一部を次に示す。「東京五輪のあと、日本を様々な課題

が襲います。ひとつは人口減少。この5月に「日本創成会議」が発表した2040年の人口推計では、全国の地方自治体の半数が「消滅可能性都市」と名指しされました。さらに社会保障の問題があります。2025年には団塊の世代が75歳以上となります。年金、医療、介護の負担はさらに重くなる。消費税を10%に上げたとしても対応しきれません。それは誰もがわかっていることです。2020年以降の日本は、これまで見て見ぬふりをしていた課題と、向き合わざるをえなくなります。これからの日本の課題は「国が全部やります」というわけにはいきません。「ちょっと見ると素晴らしいことを述べているように見えるが、政治家として本当に大切なことが分かっていないように思えるのである。国とは何か、国民とは何かという基本が分かっていると言えは言いすぎであろうか。国は頼りにならないから、自分のことは自分でやれと言っているのだ。親は親としての務めがあり、将来この国をどのような国にして行くのか、他国との関係をどのようにして行くか、など国民に代わり考える必要がある。新次郎氏は親が頼りないから子供である国民がしっかりとせねばならないと言っているのだ。親が親の責任を放棄して子供に何とかせよと言っているに過ぎない。政治家は国民を代表してこの国を将来こういふ国にする。その為、今こういふことをせねばならないと議論し、結論を出しそれを実行に移さねばならない。新次郎氏は最初から自らの責任を放棄して国民に説教しているように感じられる。

20年後、人口減少により地方都市の半数が「消滅可能性都市」になるという予想があれば、そうならないために、何をせねばならぬか、あらゆる可能性を論じ、実効ある案を出し、それを実行に移していくのが政治家に課せられた使命なのである。人口減少は既成の事実で何ともならないものとしているようだ。政治家としての使命を初めから放棄して国民に丸投げしよつとしていように見えるのである。人口減少の原因はいろいろあるだろうが、国民の貧困化が大きいと考えられる。経済成長により毎年所得が増え、10年も経てば所得が現在の2倍になるといふ予測があれば、結婚して子供を持つという若者が多くなるのではないか。そうなれば子供は増えてゆくのではないか。

経世済民という政治

国民を安全で豊かにする政治が経世済民である以上、何をにおいても経済成長を実現せねばならない。20年以上、世界で唯一経済成長を怠った国が日本である。この間に日本は経世済民の反対の政治を行ってきたのである。経済成長ができなかつた原因も極めて明確である。政府が「緊縮財政」という誤れる政策にこだわりの続け、やるべきことをやらなかつた付けなのだ。

経済成長を行うためには投資が不可欠である。特に政府が行う公共投資は民間が代わりにやることは出来ないものである。この公共投資により道路・鉄道・ダム・堤防等の経済成長に不可欠の公共インフラ(国電)も増え、その結果経済成長が起きるのである。不幸な過去の20数年間、「巨額財政赤字で国が破

綻」緊縮財政は避けられない「消費税増税は必要」という大嘘で経済成長に不可欠の公共投資を一時より半減させてきた。その付けがテフシ、経済のゼロ成長なのである。政治家はこのような経済の本質をよく勉強し理解せねばならない。新次郎氏のように馬鹿なことをいふ政治家はお引き取り願いたいと切に思う。



拙宅の書庫にある新聞スクラップをめぐってしまいました。まことに面白い記事に再会しました。あつとおどろく憲法学者 小林節先生の、28年前の「卓論」です。語られている内容は、今の自衛隊、憲法改正議論、政権リーダーへの叱咤など、鋭くも熱い思いであふれています。小林先生には改めて気鋭の憲法学者の原点に立ち返って、ますます劣化した野党議員や守旧的憲法学者の批判に健筆を揮い、舌鋒鋭く斬っていただきたい。

小林節氏の過去の自衛隊に関する言論

「尊い自衛隊に正統な地位を」
慶應義塾大学教授 小林節
平成2年11月1日付 世界日報
VIEWPOINT よゝ

国防意識欠如と政治責任

きょう11月1日、また自衛隊記念日がやってきた。警察予備隊の発足から数えれば既に40年が過ぎたというのに、相変わらず、自衛隊を取り巻く環境

は不当に悪い。何よりも悪い点は、国民一般にいわゆる「国防意識」がまったく欠如していることである。そしてそのような状況が固定化してしまっているのは、一方的な情報を流し続ける一般マス・メディアの姿勢とそれに対して議論を喚起すべき才ピニオン・リーダーとしての責任を忘れた政府・与党の怠慢のせいである。まず、私達が好むと好まざるとにかかわらず、世界史の現実の中で、この自由で豊かで平和な生活を維持・発展させるために軍事力は不可欠である。つまり、神ならぬ不完全な人間達が諸国を構成している以上、国際社会も国内社会と同様に、それぞれが客観的には悪いことだと分かっているながらも自己の不当な要求を暴力で実現しようとする国家が常に機会を窺っている。しかし、それを許したのでは、この世に平和はなくなり、大多数の善良な人々の自由と生命と名誉と財産が危殆(きだいたい)に瀕することになる。だからこそ、犯罪と警察の關係のように諸国は、暴力を伴った不正義に対しては敢然とそれ以上の実力をもって正義を維持・回復するよう努力してきたのである。

安保と自衛隊に守られて

もちろん、戦後45年余り、わが国は一度も戦火に巻き込まれていない。しかし、だからといって軍隊を不要にする議論には与(くみ)することができない。なぜならば、まさしくその45年余の平和自体が、日米安保条約と自衛隊という、軍事力によって守られてきたからである。つまり、一般に

誤解されているように軍隊は戦争をするために存在するものなどではない。それは、いざという時には有効に戦闘を遂行し得る実力の存在を他国に示すことにより、未然に他国からの侵略を抑止するためにこそある。

また、東西冷戦構造が崩壊しつつあるからといって、即座に軍隊が不要になっただけでもない。つまり、軍事力を行使してでも共産主義体制を他国へ輸出したい・などという私達にとつては非常に迷惑なソ連の国是がとりあえず凍結されたからといって、わが国が国際的には紛争に巻き込まれる可能性がなくなったわけではない。むしろ、イラクの蛮行が如実に物語っているように、米ソ二大陣営と言う枠組みを失った世界は、今、各国が自国の一方的な利益だけを自由に主張できる状況になり、むしろ、正義と平和を維持するための新しい世界的な軍事システムを確立しない限り、世界がいわば戦国乱世になりかねない様相を呈している。

世界国家へ憲法改正必要

世界平和に責任を負う時。そして、そのような状況下にあつて、わが国は、かつての敗戦直後のように米国の「保護監察」下で「私達は何もしません」とばかりに卑屈になつていけば済んだ立場ではなくなつていく。つまり、もはや世界で一、二位を争う経済大国として、また、世界中で事業を展開している世界国家として、さらに、国連の有力なスポンサーとして、今、日本は世界平和に直接的に責任を負うべき立場にあり、まず、そのことを皆で自覚しなければならぬ。そして、そつで

ある以上、世界の常識に照らして、合理的かつ民主的に管理された強い軍隊がわが国にも必要である。にもかかわらずわが国では、「自衛隊は自衛のためであつても海外へ出て行けない」などといった訳の分からない議論が憲法論の名の下にいまだに跳梁跋扈している。しかし、憲法などは私達が幸福に生きていくための道具に過ぎない以上、敗戦直後の卑屈で非力で無責任であつたわが国に相應しい憲法など、今、皆で議論して改正すればよい。そして、是まで40年余にわたつてあえて「口陰者」の立場に甘んじながらも私達の幸福の不可欠な前提であるわが国の存立を支えてきてくれた自衛隊に対して、正当な地位とそれに相應しい尊厳を認めるべきである。ここで改めて問いたい。人間として最も大切な生命をかけて国家(すなわち同胞の生命と財産と名誉)を守り続けてきた自衛隊員以上に尊い職業の人が他にいるだろうか。

男のこけんに関わる
H30-6-1 東京 佐藤和夫

最近「男のこけんに関わる」と言つ言葉がなくなりつつある。逆に女のプライドが傷つけられたと言つ話はよく聞く。セクハラが代表であろう。
私は女性を喫茶店やレストランに誘

つて割り勘はできない。女性に言い寄るなんてこともできない。働いて欲しいなんてことも言えない。全て男のこけんに関わるからである。俺が女を守る。そのプライドが男のこけん。男も女も男のこけんを大事にして欲しい。それが男女が幸せになる簡単な道である。

大賛成 縁尋堂 仁出川清司

女が魅力を無くすると肉食女子となり、男が沽券を失つと草食男子となる。

男の沽券を守る会 増木重夫

「男の沽券を守る会」を作らなあかん！ 私も女性と割り勘などしたくない。死んでもイヤだ！

確証を得た証拠を持って
京都北山細野の神主 中村重行
H30-5-23

国会で自由を迫るのは拷問と変わらないのでは？

国会の場で演じられている「面白くないお笑い」(カケ・モリ問題)・もうい加減にしてくれ！

何の確証(物事を追求するにはこれが肝心)もないのに三流通刊誌のネタを元に政府を追求している一部野党の姿勢は私のような真面目な国民(？)にとっては不愉快極まりない。

世間では時々冤罪問題がニュースになつていますが原因の多くは検察側に確証がないのに、自由の強要でやつてもいない罪を認めさせたことが元になつ

ています。これなどは警察の捜査能力の低下が招いた結果ですが同じことが国政の場でも流行りだしたのではないか？

昔拷問が普通に行われていた時代になった言葉の拷問ではないのか？ マスコミや一部野党の議員たちは「ペンは剣より強し」と言つ言葉を知っているのか？ 剣(武器)よりも強いペン(言論)を持って自由を迫るのは現代の拷問ではないのか？ 捜査に拷問が禁じられているのは民主主義の文明国ではアツタリマエのことではないですか。

一部野党の議員たちや政府転覆を生きがい(社是)にしているマスコミはいまだに拷問が行われている共産国や独裁国を見習っているのか？

国民の選良たる国会議員が全国民に中継されている国会の場で政府に拷問で自由を迫る「面白くないお笑い」を見せられるのはもうウンザリです。見ているのはテレビ報道を真に受ける馬鹿な視聴者ばかりではありません。これではますます一部野党の票は減つてゆきます。何かにつけて「安倍独裁を許さない！」と言つている化石脳の左翼たちはパニックになるのではありませんか。

「安倍独裁を許さない！」ためにも確証を得た証拠を持って政府の独断に歯止めをかけてください。(あまり期待はしていませんが)

実は何を隠そう、宮司宅も奥方の喚問が一番怖いのです！ 「貴方、ここに座ってください。」ソツソツ マスキ

杉田謙一の歴史。歴史博物館

尊葬の町

<https://plaza.rakuten.co.jp/seimeisugita>

17日明治天皇御葬儀
2018.06.06

今日は6月6日。昭和54年の今日、僕は大きな感激の時を迎えたのであります。そう、元号法がやっと通ったのでした。国家独立の象徴こそ、元号。イエス生誕から何年などと時を数える文化を便宜上使うのは良いが、染まるわけにはいかない。僕は必死に署名活動やキャンペーンなどを行い、元号の存続を願い続けた。陛下御即位に伴って新しき御代が来る。その迎える御代に願いを込めて元号が定められるのです。しかし今日では意図的にか、元号を軽視し。西暦ばかりが目立つようだと心配している。なんと官庁側から元号を使わない部署が出て、整合性を取るためにすべての部署で西暦に統一する危険性が出てきているという。由々しき事態です。官庁が西暦表記中心になるなど耐え難い。

元号をなんとかしても残さねば先人に申し訳が立たない

日本領事館前の徴用工像の強制撤去

2018.06.01

やっつて韓国釜山日本領事館前の徴用

工像の強制撤去が開始されたようだ。産経が報じた。

日本の支援を得るがための形ばかりの行為であろうが、まずは国際常識を解する勢力が韓国にもある証左と認めてもよいのかもしれない。今更の事であるが、朝鮮も日本統治下の三五年間で千三百万人の人口が二千五百万人と約二倍に増え、平均寿命も二〇歳代から四〇歳代へと大幅に伸びている。

文字が読めなかった民族に全土に四〇〇を超える小学校を建てハンガルの文字を復活させて与え、教育を与えたのも日本であるし、国家財政の大火事を補ってんし続けたのも日本。清からの独立を成し遂げ国家財政の大赤字を補ってんし続けたのも日本。道路、発電所、水道など生活のインフラも数多く残している。また1924年には朝鮮に京城帝国大学、1928年には台湾に台北帝国大学を設立した。京城帝国大学は6番目、台北帝国大学は7番目に設立。8番目1931年の大阪帝国大学、名古屋帝国大学は9番目1939年の設立。

日本政府は大阪や名古屋よりも先に朝鮮や台湾に帝国大学を設立しているのだからどれほど朝鮮を優遇したかわかるというもの。また日本政府は朝鮮人も中国人も陸軍士官学校への入校を認めた。敵視してきたなら軍士官学校に入れて軍の中核に入れるはずはないでしょう。軍での功績著しいことにより天皇陛下の金賜勲章を頂いている韓国軍人もいる。

李王朝の最後の殿下である李垠(イウン)殿下も陸軍士官学校ご出身。この李垠(イウン)殿下のお妃となられたのが、日本の梨本宮方子(まゆみ)妃殿下です。もし日本政府が朝鮮を見下すなら妃殿下を李垠(イウン)殿下のもとに嫁がせるはずもなく意味もないでしょう。彼らが客観的なデータに触れようとならないのはプライドが許さないのであろうが、日本からみれば滑稽そのもの。徴用工像の建立をもって日本による迫害を糾弾したいのでしょうか、あまりに勝手な主張です。

常識回復は一過性であらうがなごさいより良しとしよう。撤去事実は先例として使えるであらうから。撤去も金輪際経済支援は成すべきではなからう。

国力なしに邦人保護はできぬ

2018.05.29

明日が東郷平八郎閣下の御命日であるため、ハワイの王国カメハメハ朝転覆を企てたアメリカの威嚇のため巡洋艦「浪速」他二隻をハワイ、ホノルル軍港に送った話をした。米国の不平等条約を撤廃する動きをみせた王女に対しアメリカ人農場主らがクーデターを起こし、反発。ついに王政を打倒して「臨時政府」を樹立した。この時、日本は邦人保護を理由に東郷が行ったのだった。女王を支持する先住民らは涙を流して歓喜したといわれる。日本に力があればハワイ王朝は国際結婚を成し米国から

の侵略を食い止めたのであろうが。アロハオエの歌の悲しき響きも王女がアメリカ本土に連れ去られ故郷を思う哀しみの歌と聞く。ハワイ併合にの無念をおそらく強く感じたであろう。

国力を付けねば国はとられる。明治三七・八年の日露戦争でのバルチック艦隊殲滅の大業を成し遂げられた閣下の原点はこの悔しき体験にあったのではと語る。

白瀬中尉
2018.05.28

Sさんは「自宅に皇太子時代の大正天皇からいただいた感謝状があると言われる。理由を聞くとおじいさまが南極大陸探検を成された白瀬中尉の船の機関長をされていて、上陸を祝っていたものだといわれる。

白瀬中尉の晩年は本当に悲惨で、南極大陸渡航費用の借金返しのため何十年も講演旅行をされたかた。今の金で1億5千万にあたる金を返さざるまで極貧生活を成された。豊田市にて亡くなられたが、確か蒲郡にもお住まいになられた記憶がある。三河にお住まいになられたのはSさんの故郷、碧南を頼ってお越しになったという。S s a n n h a 今は西尾にお住まい。碧南では墓を建てる慣習があまりなく、ご自宅の墓もなかったそうですが、機関長の墓がないわけではないと多くの方から何度も問い合わせがありついに西尾に墓を建てたとおっしゃる。私は一度白瀬中尉の故郷を見よう

秋田県に走った。白瀬南極探検隊記念館であります。愛知の西尾市吉良町にも「大和雪原開拓者之墓」の墓碑があることはネットで見て一度行かねばと思っただけがなかなか機会がなくそのままにしまっていたが、今日、こんなところでつながらずとは。

Sさんがこれほど気骨ある人物である理由がわかった気がした。偉そうな話を今までかたがたしてきたことがまことに恥ずかしく思われてならない。是非おじいさまの書物を出してほしいと要請したのですが、資料などほとんど残っていないから無理との返事。

ちなみに、白瀬中尉は千島の北の端占守島にて初めて越冬された体験も持たれる。占守島の戦いの話は、豊橋大池の池田戦車隊長の決死の防衛の話が有名ですが白瀬中尉のまさに命がけの防衛の話も僕らが語り継がねば。

ルックウィーストの名に恥じぬ日本に育つたい
2018.05.10

マレーシアのマハティール元首相が92歳で首相に返り咲く。ピククリする出来事でもあります。マハティール氏は1981年から22年間の首相在任中にマレーシアの工業化を実現、先進国入りを国家の大目標に掲げた。東南アジアでいち早く経済発展を成し遂げた。その経済モデルは、日本経済。日本の勤勉さに学ぶ「ルックウィースト政策」を掲げていた。なつかしく思い出す。KLに学習塾を開いた友の後を受け継ぎ、現地滞在員の子弟たちに勉

強を教えたのですが、船便で教材を送るのに馬鹿高い費用がかかったのには閉口したが、塾に学ぶ子供らの勉学意欲は極めて高く、当然ながら英語力は抜群。日本人が国内でなぜこれほど勉学しないのか、国内で義務教育を受ける日本人の甘えも常に痛感していた。

社員も愛国者。陛下のマレーシアへのお立ち寄り時には現地に於て奉迎活動をしてきていた。残念ながら資本力の差で大手進学塾に押されて撤退することになったが、マレーシアでの生活に感銘を受けて社員は現地に残った者も。

しかし、マハティール氏は「今の日本に学ぶものはない」と後に表明。悔しかったが、これが現実と思わざるを得ない戦後の日本人の姿があったのです。もはや武士道のかげらもなき日本。日本への敬愛の心は戦前の日本人を知ってみてから。その貯金で日本人が尊敬を受けていたに過ぎなかったのだ。エゴイズムの蔓延する日本。マルキシズムに汚染された下どまりの平等主義。経済にしか目がいかぬエゴイズティックな人格。退廃の中に日本人の精神は落ち込んでいた。日本が見放されるのは当然であった。今も

そうであります。犠牲をいとわずに信念に生きる青年は特別なスポーツ選手の中にしかない。祖国を卑下することを善良と勘違いしている青少年ばかり。それを助長する「個」優先教育マスコム。マハティール氏のマレーシアへの愛情には90を超えても熱烈たるものがある。こうした政治家は日本には数えるほどしか見えない。日本にプライドを持つ人材が今どれだけいるのでありましょうか。近隣の政治家を見れば本当にこれだけのかと思わずにいられない。も

りかけにばかり群がる政治家。マハティール氏が「ネオルックウィースト」政策を語る日は果たしてくるのか。日本人すべてが事故に問わねばなるまい。北がトランプ大統領に媚びを売るのであるから。そして不正義とみれば有無を言わずに武力の行使を成すから。確かに南北朝鮮が戦時下にあるといえどもアメリカも同様、しかも何度も武力行使を成している国。米国人3名が武力行使によらずに奪還できたことは何より。おそらく身代金は払ってはいないので。日本がいくら拉致抗議を成してもアメリカのごとき総合力には到底及ばず、もどかしき限り。野党は改憲を止め、政府の手足をもぎ取ろうとするを使命と勘違いするがごとき振る舞い。これでは拉致被害者を彼らが返すわけがなからう。日本が米国の力を頼るしかない現状にあって、米国追従のレッテル張りを成して政府批判を繰り返す。マスコムも輪をかけて政権批判。拉致被害者救済の最大のチャンスをつぶそつとしていく。将来の日本人が今の野党の行為を果たしてどう見るのであろうか。

書評「トランプに学ばれた日本人精神」
2018.05.09

ライシャワー駐日大使の奥方ハル女士のインタビュ記事には衝撃を受けた。産経に記載があった。

ライシャワー氏のもとに度々訪れるテレビ局や雑誌社のインタビュの料金を尋ねると、「規定の額はありませぬ。

カンボジア難民救済センターに全て寄付をお願いしています」と話すハルさん。感銘する私に、ハルさんは「友人の犬養道子さんは、難民救済のため親から相続した家を買りましたよ」と続けた。自分の家柄や経歴、そして豪華な邸宅をひけらかすことなく、長年の善行を広く世間に知られることもなく、基金捻出のため思い出深い自宅を手放すとは、これが真のボランティア精神なのだ、その偉大さを痛感させられた。その姿に敬服

天皇、皇后両陛下が皇太子、皇太子妃時代に米国訪問をされたとき、ボストンでの宿泊先としてライシャワー邸を希望され、ハルさんは「皇室始まって以来、初めて民間人の家に泊まれるのよ」と非常に喜んでいました。後日ハルさんは、このような話をしていた。「深夜にかかってきた日本からの電話は、(美智子さまの)お母様の逝去を知らせるものでした。話し終えた美智子さまに慰める言葉もなく、たたずむ私たちに、涙の1滴見せず、『日本を出るときから覚悟はしておりました』と静かに言われたの」

「翌朝、悲しみを胸中に収め、皆と談笑しながら朝食をいただく美智子さまの姿に敬服させられました。あれほど気高く、気品と教養を備えられた女性、世界の皇族でもそうおられるません」 引用以上。

何たる御決意。初めて伺った皇后の御振舞。到底まねもできない無私のご精神・御振まいにびっくらした。皇室にお入りになられた美智子妃殿下の御決意の尊さに誠に申し訳なくありがたく思ふ。

今月の新聞報道・ニューズ等

安倍政権支持訴え保守系団体
体が千名名古屋で初

【30-5月28日 中田新聞】

中部地域の保守系団体のメンバーが二十七日、名古屋市中区の街頭で初のデモ活動を行い、安倍晋三政権への支持を呼び掛けた。写真。森友学園や加計(かけ)学園を巡る一連の問題で国民の不信感が高まる中、安倍政権による改憲や北朝鮮問題への対応の必要性を訴えた。

〔左より、三輪会長、増木、水島氏〕



安倍政権に反対するデモ活動は定期的に行われているが、政権支持を掲げたデモは名古屋では初めて。約二百三十人が国旗や安倍首相のポスターを掲げ、「われわれは安倍政権を応援する」「野党は建設的意見を」と訴えながら、市街地を一時、練り歩いた。

デモを主催した名古屋市天白区の伊東富士夫さん(67)は「自民党内にも首相への不満が始め、悲願の改憲が危うくなりつつある。保守の支持層に広く賛同してもらおうと思った」と説明。同市昭和区の無職桜木昭秀(てるよし)さん(73)は「国会答弁でむきになり、米国へったりなど物足りないところもある」としつつ、「日本の空白の二十年は短期政権のせい。長期政権でないとなら外交力は発揮できない。自主憲法を制定し、自分の国は自分で守れるようにしてほしい」と強調した。

不肖、増木も参加し、マイクを持たせていただきました。感謝！ マスキ

橋下徹 日大アメフト対応はなぜ最悪か「OKO」や山中教授とは正反対

2018.5.23 PRESIDENT Online

日本大学アメリカンフットボール部のラフ・プレー問題が急展開を見せている。内田正人監督の辞任に続いて、当事者で

ある日大の選手が5月22日に記者会見し、「監督やコーチの指示により反則行為を行った」と明言。問題が拡大した理由は何か。橋下徹氏は、危機管理における初動の失敗を指摘する。プレジデント社の公式メールマガジン「橋下徹の『問題解決の授業』」(5月22日配信)より、抜粋記事をお届けします。

最大の「責任者雲隠れ+疑惑全否定」は最悪の初動対応だ。日本大学のアメリカンフットボール部が大騒ぎになっている。関西学院大学との伝統の定期戦で、日本大学のある選手がとんでもないラフ・プレーを行なった。そしてこのラフ・プレーが内田正人前監督の指示に基づいていたのではないかの疑惑が浮上した。

このラフ・プレーの動画がネットで流れ、瞬間に大手メディアを通じて日本中での大騒ぎになったけど、当事者である内田前監督はいったん雲隠れして説明から逃げ回り、日本大学も明確な説明を行わなかった。そして最初に公に出した声明は、「ラフ・プレーを監督が指示したことはない」との全否定。説明不足、謝罪不足、調査不十分のままでの疑惑全否定という、もう最悪の初動危機管理対応の典型例だよ。森友・加計学園問題での安倍政権の対応や、福田淳一元財務事務次官のセクハラ問題での財務省の初動対応とそっくり。

では、日本大学が最初にとるべきだった対応とはどんなものか。まず即座の責任者会見の設定。メディアの状況から日本中で大騒ぎになることを素早く察知して、大学のトップである学長とアメフト部監督の共同記者会見の設定は最初

にとどまらず、大学全体の問題だと認識して学長が乗り出すことが必要な事案。ここに気付かなければ、危機管理の指揮官として失格。このようなのは危機管理学部の授業では「リスクコミュニケーション」として授業が行われる分野かな。でも大学では小難しい抽象論ばかりやっているから、いざ実践では役立たないんだよ。簡単に言えば、メディアの状況を見て、どれだけの騒ぎになるかを察知する能力。日本大学にはこの能力が欠けていたね。僕も大阪府知事、大阪市長のときに、役所の職員が不祥事をやった際、メディアの報道状況をみてこれは役所全体の問題になるなと感じれば、担当部署の幹部に任せっきりせずに、知事・市長自ら会見の前面に立ったね。ラフ・プレーの映像を観る限り、日本大学・アメフト部としては、自分たちの行動を正当化する要素は全くない。対外的に死ぬほど謝らなければならぬ事案であることは明らかである。そうであれば、とにかくまず公に被害相手に謝る必要がある。そして謝る時には、中途半端な形は最悪で、こころで謝るか! というくらい、最初にしっかりと謝らなければならない。後から小出しに謝ることは全く効果なし。日本大学の最初の躓きは、第一次責任者である内田前監督とそして組織トップである学長がすぐに会見を開かなかつたことだけ。さらに最悪の初動対応は、自分たちの責任を小さくしようと考え、調査不十分のまま事実関係の安易な全否定から入ったことだ。あのラフ・プレーは、どのような言い訳もできないもの。ところが報道では、

内田前監督の指示に基づいていたものかどうか騒がれていた。日本大学とアメフト部は、少しでも自分たちの責任が軽くなるようにと考えたのか、最初の公の声明において「監督の指示という事実はない」と全否定から入った。

ほとんどこの対応が、その後の危機管理がうまくいくか、最悪のものになるかを決める超重要ポイントで、たったこの一つの初動危機管理対応のミスが、速やかなダメージ回復を完全に阻害した。逆に、ここでうまく対応すれば、ダメージ回復はスムーズに進んだと思う。

監督がラフ・プレーを指示したか指示していなかったかは、後からきっちり調査して確定すればいい事実で、最初の段階で全否定する必要は全くない。まず認めなければならぬことは、今回のラフ・プレーはあってはならない反則行為であり、これは内田前監督の指示に基づいたものであったかどうかに関係なく、チームの最高責任者である内田前監督の責任であるということだ。

日大や安倍政権と対照的！ TOKOと山中さんが危機管理に成功した理由
まとめると危機管理指揮官としての危機管理マネジメントのポイントは次の通り。

(一) 事案の概要を見て、責任を認めるべきかどうかを判断。道義的責任があるのであれば、後の法的賠償責任のことは考えず、全面的に責任を認めて、真摯に徹底して謝罪する。加害当事者(加害学生)の社会的制裁を緩和するためにも、加害当事者の反省・謝罪の意を直ちに公表する。

(二) 報道の状況などを見て、組織の

最高レベルのトップ(学長)が出るべきかどうかを判断する。第一次的な責任者(監督)は必ず前面に出る。

(三) 責任を認めて謝罪をした上で、細かな事実関係については、第三者調査チームで徹底調査することを宣言する。いつまでに公に報告をするか納期を設定する。原則は1カ月後、1カ月以上の調査が必要な場合には、まずは1カ月後に中間報告することを約束する。

(四) メディアの報道に踊らされて、事実確認をしなければならないポイントを見誤らないこと。言い訳のための安易な事実否定は厳禁。事実調査は責任を認める姿勢でやるのが原則。仮に言い訳し得る事情・責任を減じる主張がありそうでも、それは慎重に主張する。

(五) 責任を認めるにあたって、同種他事例や同業他社(者)の状況も調べる。自分たちが特殊なのかどうかを確認し、特殊でなければ、反省・謝罪を徹底した上で全体の改善のためにその旨も主張する。このように言われてみれば簡単で当たり前のことだけども、事前にはしっかりと勉強しておかないと、いざその場では思いつかない。

ちなみに最近の事例で、危機管理のお手本はTOKO、ちょっと前では京都大学やS細胞研究所の山中伸弥教授(所長)だろう。TOKOはメンバーである山口達也さんの未成年者に対する強制わいせつ事件で、山中さんはS細胞研究所のメンバーである山水(やまみず)康平・特定拠点助教による論文不正事件で、危機管理対応することになった。

TOKOも山中さんも、危機管理としてあのような対応をしていたわけじゃないと言われるかもしれないけど、本人た

ちの意図はどうかであれ、客観的にはパフォーマンスな危機管理対応だった。実際、もうTOKOにも山中さんにも批判の声は続いている。逆にTOKOや山中さんに同情の声が上がったほどだ。

TOKOは、メンバーの一人である園分太一さんが朝の情報番組の司会をやっていることもあり、番組でもたっぷり時間を割いていた。TOKOのメンバーは徹底した謝罪を繰り返した。山中さんも同じく徹底した謝罪と事実説明を実施した。初動対応をしっかりとやれば、無用な批判を沸き上がらせることはないし、批判は沈静化する。真逆の拙い初動対応が、安倍政権や日本大学(アメフト部)。初動危機管理対応の巧拙が面白いくらい比較できる事例だね。

埼玉県議 鈴木 正人 Fb
日大選手、内田監督から「試合出さない」日本代表辞退も指示。

こういう部活の顧問いましたね。野球部なのに何でシニアリーグに出るんだと言って説教され、その後キャッチボールすらやらせて貰えなかった事を思い出しました。

ただし、私はその後反抗しまくりましたけどね。

アメフト、レスリング、相撲…不祥事だらけの格闘系スポーツ
H30-5-23 やまや新聞社

アメリカンフットボールの反則タックル問題で、日大の内田正人監督が5月16日、辞意を表明した。自身が反則を指示したか否かは文章で回答するとして明言しておらず、問題はまだまだ収束しそうにない。

一方、女子レスリングの伊調馨選手が5月18日、パワハラ騒動発覚後、初めて報道陣の前に姿を見せた。日本レスリング協会は週刊誌による第一報からパワハラを否定し続けてきたが、内閣府への告発から第三者機関による調査を経て栄和人・強化本部長の一部行為をパワハラと認定し、同氏は強化本部長を引責辞任している。

さらに、大相撲でも暴行事件による日馬富士の引責引退から白鵬の品格問題、貴乃花部屋の貴公俊による付け人への暴行事件と問題続きである。

H30-5-30 増木重夫
体罰なども含め、高校野球やサッカー等も不祥事が多い。ところが「剣道」では不祥事など聞いたことがない。何故か。

不祥事の原因は「とにかく勝つこと」なんでもいから勝つこと」に起因している。

勝てば進学や就職、最終的にオリンピックや国際大会に出れる可能性が出てくる。そして「への放映権等々。要はすべてお金がらみの利権に結び付くからだ。だから無理をする。その点剣道はオリンピックにもない。せいぜいが国体。

だから利権がない。それなのに小さい利権はあるのだから、無理をするほどでもない。だから健全。皆さんどう思われますか。

皆さんどう思われますか。

連合艦隊各艦の予定・活動報告

NPO 法人百人の会

●第6(通算20)回定期理事会
平成30年6月20日(木)1時半～
サントリーエイト新大阪 4F-11
恙なく全議題が承認され終了。
議事録等製作中。

英霊を被せしめる会

【東京】●控訴審終結
●第2回口頭弁論 東京高裁
E30-06 13:30～
判決 10月25日(木) 13:30
※傍聴券への引き 12:50～
◎取り急ぎの報告

昨日、東京高裁で安倍首相靖国参拝訴訟控訴審が結審しました。

詳しくは徳永弁護士への報告を動画でアップします。

結論から申し上げますと、10月25日(木)13:30に判決が出ますが、まだ一行判決、「控訴人らの控訴を棄却する。」だと思えます。いや、99%間違いないでしょう。裁判長の毅然とした態度に敬意を表したいと思えます。

先ず
→ 補助参加人の参加について。「後日判断する。」

要は、我らの代理人(徳永弁護士)に「出て行かなくてもいいよ。」と言ったこと。

控訴人らが陳述。そして拍手。裁

判長が「拍手をしないように」。控訴人応援団「いじやないかこのくらい……」裁判長を侮辱。裁判長「退廷してもらいますよ」と3分くらいにらみつける。法廷、氷のような状況。

靖国神社の実況見分をさせる。「必要はない。」それでも頑張る控訴人。法廷裏で合議(のポーズ)。再度ピシヤッと見分の必要はないし、これで終結する。傍聴人席「うあ〜」3秒後には衛士(法廷の警備員)がどやどやどや。しよぼんとする控訴人とその応援団。後、判決のみ。もう一回だけ、もう一回だけで事実上総てが終わります。傍聴をお願いいたします。事務局 増木

訃報 朝丘雪路さん 4/27死去

朝丘雪路さんに関しては今更説明の必要はないと思えます。彼女は、弊会筆頭補助参加人、津川雅彦氏の奥様です。心よりご冥福をお祈りいたします。

新聞には「アルツハイマー認知症が2、3年前に進行したことで、施設に預けるよりも同居することを選んだ。」と書かれています。英霊を被告にして委員会では、大阪で「審勝訴した際、「祝勝会」を盛大に催しました。そして、津川さんも「靖国には反政府の白虎隊等もお祀りすべきだ」とお話しいただき、パーティに花を添えてくださいました。ちょうど2年前、平成28年3月18日、雪路さんの病状が悪化したころのことです。

この時は、大変お疲れの様子でした。「新しい企画の打ち合わせ等」と話されておられました。今思えば、雪路さん

んの看病とその疲れ。それでも8時頃までお付き合いいただきました。

雪路さんの病状のことなど全く知らず、「新幹線の最終は9時ですよ。」などとバカなことを言ったことを覚えていきます。1分でも早く東京に帰りたいかっただけでしょう。そんなことなどおくびにも出さず、「ニコニコと我々と一緒に祝杯を上げてくださいました。さすがに日本を代表する名優の超演技。いつの日か、津川氏に会うことがあれば、「あの時は申し訳ありませんでした。」と申し上げたい。ただただ、津川氏に感謝。 増木

活動資金協力のお願

まずは、平素より私どもの活動に力強いご支援を賜り心から御礼申し上げます。マスコミ情報デスクは後記団体に縁のあった人の名簿を管理し、『M情報活動報告』を毎月全国約5千(目標1万)部(議員4割)発送しています。私どもは子供達に誇りある国を残すため必死で戦っています。ところが問題は活動資金。何卒ご協力をよろしく。※このM情報は特に「購読料」は設定していません。カンパをよろしくお願いたします。

編集後記

今月の忙しいこと。この2週間ほどで沖縄、岡崎、東京に2回、百人の会総会。家業はどうなってる。自分でもあきれるくらい放置。

ありがたいのは「障害者手帳」。ほとんどの交通機関が半額。そしてもう一人、介添え人として半額。だから嫁が同行でき、秘書をしてくれる。一人ではさばききれない。ひょっとして、日本で一番元気な障害者かも。本当の障害者の方に申し訳ない。 増木

原稿・同封資料の募集、メール配信について

本紙に掲載ご希望の論文、情報等ほとんどん表記事務所までお送りください。また、弊紙は郵メールで発送し、重さ制限は50gです。まだ余裕がございますので、資料等の同封が可能です。ご相談ください。

『M情報』では、日々、全国各地の間から情報が送られてきます。それをメールで転送配信します。内容はここよりも詳しく多種多様。試しに一度受信してみませんか。要領は巻頭のアドレスに「メール希望」と空メールを(発信名義「NPO法人百人の会」)。

郵便振替 00980-8-245647 MASUKI 情報デスク
①ゆうちょ銀行 099-0245647 MASUKI 情報デスク
②東京海上信用金庫 0044849 普通 増木重夫

- カンパ金の主な使途は、下記サポート団体の、活動の資料等の発送費・道路、公園使用料・交通費、通信費・資料、CD等の制作・備品購入費等
- M情報が管理・サポートしている主な団体
- ・NPO 法人百人の会
- ・憲法一条の会・英霊を被告にして委員会、その他
- ◇ 前記口座、または同封の郵便振替について協力ください。